

令和8年度 教育委員会X方針について

■ 局区X方針とは

(概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

(目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

■ 教育委員会X方針について

(1)課題数 全6件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	3件	2件	1件
政策分野	教育環境 (ソフト)	教育環境 (ソフト/ハード)	局全体

Aレベル・・・行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル・・・政策的な変革課題

(Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組

・課題A AI型学習アプリの導入による「個別最適な学び」の推進 (資料1 P4)

○全国学力・学習状況調査の結果から、本市の子ども達は、授業以外での学習の機会が比較的少なく、学習内容の定着が不十分であったことが分かる。

○そのため、令和8年度については、以下の取組を行う。

- ・AI型学習アプリの導入、「北九州市 AI型学習アプリ活用アクションプラン」の作成・普及や学校への伴走型支援を実施する。
- ・全国学力・学習状況調査の結果分析とAI型学習アプリの活用効果検証を実施する。

・課題B 地域クラブ活動の推進 (資料1 P6)

○北九州市では、国の施策動向も踏まえて、子ども達が学校部活動と合わせて、スポーツ・文化芸術など様々な活動を経験できる「地域クラブ活動」を推進している。

現在、約120の地域クラブが認定され、それぞれに特色ある活動を行っているが、今後も、生徒・保護者や地域と共通理解を持ちつつ、市内に地域クラブ活動を一層広げていくため、個々の取組の更なる進化が必要である。

○そのため、令和8年度については、以下の取組を行う。

- ・教育委員会事務局内にPTを設置し、横断的に必要な取組の検討・実行を進める。
- ・地域クラブ活動の現状を適切に把握するとともに、生徒・保護者をはじめとして、学校、スポーツ・文化芸術活動、地域コミュニティ、経済界等各方面の関係者から意見を得る機会を拡充する。

・課題C 新たな時代の教育デザイン (資料1 P8)

○社会環境が劇的に変化し、価値観やライフスタイルの多様化が進む中、新たな学校のカたちを目指し、「新たな時代の教育デザイン」を進めるが、この「新しい学校」の教育効果（メリット）を最大限活用するとともに、北九州市の特色も踏まえた未来志向の教育モデルを創出していく必要がある。

○そのため、令和8年度については、以下の取組を行う。

- ・市立小中学校における実践例や他都市事例の収集・分析を行う。
- ・学校・保護者・地域はもとより、高校・高専・大学・産業界などの関係者とも幅広く意見交換を行うことで、小中一貫校の整備及び新たな教育モデルについて、方向性を具体化する。